

## 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（令和 4 年度補正予算措置分）の実施方針（案）

令和 5 年 2 月 1 6 日  
ガバニングボード

「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針」（平成 26 年 5 月 23 日ガバニングボード決定、令和 4 年 12 月 23 日最終改定）に基づき、令和 4 年度補正予算で措置された「大水深採鉱技術の開発に向けた技術的実装」を実施するため、SIP の対象課題、プログラムディレクター、戦略及び計画の基本的事項及び対象課題ごとの配分額を次のとおり定める。

配分額：60.8 億円

対象課題	プログラムディレクター	戦略及び計画の基本的事項	配分額 (億円)
海洋安全保障プラットフォームの構築	(プログラムディレクター候補) 石井 正一 日本 CCS 調査(株) 顧問	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)において実証した水深 2,500m の海底からの海底堆積物の揚泥技術を用いて、南鳥島沖の水深 6,000m 海域にてレアアース泥揚泥試験を実施し、その回収技術を実証する。また、レアアース揚泥量など将来的な商業生産に向けた基礎データを取得する。このために必要となる揚泥管及び浮力体を製作する。	60.8

※プログラムディレクターについては、現時点で候補段階であり、別途正式に決定予定。